

イニシアチブ・外部評価

参加しているイニシアチブ

イニシアチブ・団体名	活動内容
RE100	大塚ホールディングスは、事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブRE100に賛同し、2022年4月に加盟しました。   
気候変動イニシアチブ (JCI)	大塚ホールディングスは「気候変動イニシアチブ (Japan Climate Initiative)」の宣言、「脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加する」に賛同し、さまざまな活動に参加しています。 
Science Based Targets イニシアチブ (SBTi)	大塚製薬、大鵬薬品は、温室効果ガス削減目標について、SBTイニシアチブから認定を取得しました。 * UNGC、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) による国際的なイニシアチブ。パリ協定が目指す世界の平均気温上昇を「2℃未満に抑える」の達成に向け、科学的根拠に基づく削減シナリオと整合した企業のCO₂ 排出削減目標を認定 

外部評価

■ ESG 外部評価

CDP	CDP気候変動において最高評価の「Aリスト」に認定 英国を拠点とし、気候変動などの環境分野に取り組む国際NGOです。世界の主要な企業・都市に対して、気候変動や水管理等にどのように取り組んでいるかについて情報開示を求め、調査・評価を実施しています。大塚ホールディングスは、2024年気候変動で最高評価の「Aリスト」に3年連続で認定、水セキュリティで「A-」認定を取得しました。 
-----	---

■ 環境に関する主な ESG 投資指数への組み入れ状況

FTSE Blossom Japan Index	英国のFTSE Russell社による指数。ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映したESG投資インデックス。大塚ホールディングスは2023年より選定されています。 
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	英国のFTSE Russell社による指数。各セクターにおいて相対的に、ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映したESG投資インデックス。大塚ホールディングスは2022年から選定されています。 
S&P/JPX カーボン エフィシエント指数	東証株価指数 (TOPIX) を構成する銘柄を対象範囲とし、環境情報の開示状況、炭素効率性 (売上高当たり炭素排出量) の水準に着目して、構成銘柄の組入比率を決定する株価指数。世界最大級の年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が新たに選定したESG投資のための株式指数で、大塚ホールディングスは2018年から採用されています。 